

二二二七番

思おもはぬに しぐれの雨あめは 降ふりたれど 天雲あまぐもはれ  
て 月夜つくよさやけし

二二二八番

萩はぎの花はな 咲さきのををりを 見みよとかも 月夜つくよの清きよ  
き 恋増こひまさらくに

二二二九番

白露しらつゆを 玉たまになしたる 九月ながつきの 有明ありあけの月夜つくよ 見み  
れど飽あかぬかも

二二三〇番

恋こひつつも 稲葉いなばかき別わけ 家居いへをれば 乏とちしくも  
あらず 秋あきの夕風ゆふかぜ